

文部科学省後援

第35回

東洋大学

現代学生百人一首

1987年、本学創立100周年の「百」にちなんだ記念行事のひとつとして開始した現代学生百人一首は、今回で35回目を迎え、累計応募作品数は、1,651,524首を数えます。毎年国内外から「現代学生のもの見方・生活感覚」をテーマとした瑞々しい感性あふれる短歌が集まります。第35回となる今回は、771校より78,444首の作品が寄せられ、前回の応募数を13,000近く上回る過去最多の応募数となりました。2022年1月、厳正な審査のうえ、学生たちの「いま」を鮮やかに切り取った入選100首と小学生の部入選10首を発表しました。ここではその中でも特に優れた秀逸作品15首を紹介し

『百人一首かるた』
江戸時代
東洋大学附属図書館所蔵



第35回「現代学生百人一首」概要

- ◆ 応募期間：2021年9月17日(金)～10月13日(水) 郵送必着
- ◆ 選考方法：東洋大学「現代学生百人一首」選考委員会にて選考

選考委員長 高柳 祐子 東洋大学文学部准教授
選考委員 神田 重幸 東洋大学名誉教授
中川 佐和子 歌人／歌誌『未来』選者 現代歌人協会理事
坂井 修一 歌人／歌誌『かりん』編集人 現代歌人協会副理事長

◆ その他応募について

応募作品は、未発表の自作の短歌に限ります。
なお、入選者100名には賞状と図書カード10,000円分(小学生の部入選者10名には賞状と図書カード2,000円分)を贈呈しています。

※第36回の募集要項については、2022年6月中旬に発表の予定です。
詳しくは、大学公式Webサイトをご確認ください。

お知らせ

2022年編纂第35回冊子完成

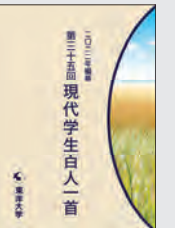
入選作品100首と小学生の部入選作品10首、日本語学校・海外協定校で学ぶ学生の優秀作品3首を収録した編纂冊子が完成しました。秀逸作品には、選考委員による選評が付記されています。本冊子は、東洋大学構内ラックに配架しています。また希望者には送料のみの負担でお送りしています。

▶ <https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/issyu/booklet/>

お問い合わせ先：東洋大学広報課「現代学生百人一首」冊子希望係
TEL：03-3945-7571

現代学生百人一首冊子

検索



第三十五回 現代学生百人一首 (二〇二一年度)

秀逸作品の紹介

※記載した学年は二〇二一年一月十五日入選作品発表時のものです。

風を切り仲間目指してひた走る溢れる思いに込めて

(福島県立安積黎明高等学校 1年 堀田雅織さん)

三〇〇年時空をこえてバロックを奏でる僕にバツハがコケる

(市川中学校 2年 鈴木優紀さん)

女子美生絵の具のついた仕事着の汚れでさえも作品のよう

(女子美術大学付属中学校 2年 丸井遥香さん)

文化祭二年連続オンライン慣らされていくこの空気感

(慶應義塾湘南藤沢高等学校 2年 石川胡桃さん)

「眩しいね」「猛暑日だもんね」そうじゃないあなたの笑顔と光る汗だよ

(千葉県立千葉中学校 3年 但馬凜さん)

顔加工男に変身してみたら「パパにそっくり！」ショックな私

(茨城高等学校 1年 小室華凜さん)

休日に壁越しに聞く会議の声優しい父の上司の一面

(千葉県立八千代東高等学校 1年 鶴岡彩音さん)

家の中授業を受ける弟の背後を通る私は忍者

(専修大学附属高等学校 2年 小塚萌愛さん)

祖母からの贈り物には茄子があり畑が薫る今日の夕飯

(貞静学園中学校 2年 高橋永尚さん)

ぐうたら父も外では郵便屋日焼けでわかる灼熱地獄

(貞静学園高等学校 2年 松橋明句さん)

風鈴の夏を連れだすその音は時をまたいで心やすらぐ

(東京農業大学第一高等学校 1年 恩田優奈さん)

十七色のSDGsが叫ばれる僕らの日常変わらないけど

(東京学館新潟高等学校 1年 五十嵐天邑さん)

視線落ち口にはマスク会話なく耳にはイヤホンまるで三猿

(西宮市立西宮東高等学校 1年 永井凜子さん)

時計地図写真音楽お財布も気づけばみんなスマホの中に

(普連土学園中学校 2年 赤間夏妃さん)

日本語だ誰も知らないノルウェーでふいに聞こえる行列の中

(慶應義塾ニューヨーク学院〔高等部〕 3年 三輪茉莉奈さん)

※このほかの入選作品は、大学公式Webサイトにてご紹介しています。ぜひご覧ください。



◆ 「現代学生百人一首」Webサイト

過去の入選作品や募集要項、各種お知らせを掲載しています。▶ <https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/issyu/>

現代学生百人一首

検索

現代学生百人一首
選考委員長
高柳先生
インタビュー

現代学生百人一首選考委員長を務める文学部の高柳祐子准教授に現代学生百人一首の魅力や今回の入選作品についてお話を伺いました。